

看護専門科目	広域発展看護学					
看護学科	必修	1単位	演習	平成30年度	後期	3年次
科目名	看護研究方法論					
担当教員	◎岩本淳子 江南宣子 助手を除く看護学科教員					
目的	看護現象を研究的に追究する方法を理解する。					
目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 自己の研究上の関心から研究目的を見出すプロセスを理解できる。 2. 研究を行う上で生じやすい倫理的問題とそれを回避するための方法を説明できる。 3. 看護研究でよく用いられる方法論の概要を説明できる。 4. 研究計画書に必要な項目と立案時の注意事項を説明できる。 5. 研究成果のまとめ方を説明できる。 6. 自らが関心を寄せる研究課題に関連した文献の中から研究テーマの絞り込みにふさわしい文献の一つを選んでクリティークを行い、自己の研究課題と関連付けて今後の方向性を示すことができる。 					
他科目との関連	既習の科目を基盤とする科目であると同時に、4回生の「看護研究演習Ⅰ」「看護研究演習Ⅱ」を学ぶ基礎となる科目である					
評価方法	項目	評価の内容				評価の比率
	レポート	課題レポート（文献のクリティークの結果と関連づけて、研究テーマの絞り込みに向けて今後の方向性について自らの考えが述べられているかを評価する）				0.5
	記録等	文献の文献検討レポート（文献クリティークのポイントに沿って偏りのない見方で文献検討が行えているかを評価する）				0.5
評価基準	総合の得点100～90点を秀、89～80点を優、79～70点を良、69～60点を可と評価し、合格とする。59点以下は不可と評価し、不合格とする。					
教科書	坂下玲子ほか 系統看護学講座別巻「看護研究」（医学書院）					
参考資料	黒田裕子「Step by Step」（学研） バーンズとグローブ「看護研究入門」（エルゼビア） 山川みやえ「よくわかる看護研究論文のクリティーク」（日本看護協会出版会）					
備考 (受講上注意、 事前学習等)	第1回目から第10回目の授業は、研究及び研究方法について基礎の授業を受ける。第11回目から第15回目は、研究テーマの決定に向けて関心ある現象の関連文献の文献検索・文献検討を行う。					